

郡上農林事務所の普及活動状況

平成 31 年 3 月 31 日現在

今月の重点活動

■ 担い手育成 **新規就農者・若手農業者激励会を開催**

3月15日に郡上指導農業士会・郡上地区青年農業士連絡協議会・郡上園芸特産振興会の主催により、新規就農者・若手農業者激励会を開催した。当日は担い手リーダー、各生産組織の代表者、関係機関職員などを含めて48名が出席し、新規就農者と若手農業者を激励した。

この激励会は、農業普及課が運営を支援しているもので、今回で3回目の開催となる。今年は、農林事務所長から郡上トマトの学校やあすなる農業塾を卒業して農業経営を開始した2名に対して、「清流の国ぎふ担い手証書」の授与を行った。

この会は、地元農業者や関係者に新規就農者を知ってもらう良い機会であると共に、作目や年令、地域を超えた交流の場にもなっており、今後もこの様な企画を継続していく。



【激励会の様子】

多様な担い手づくり

■ 新協議会設立支援 **たかす園芸生産協議会設立総会が開催される**

郡上市高鷲町では夏場の冷涼な気候を活かして、だいこん・夏秋いちご・切花などの生産が行われている。近年は、各生産者ごとに経営規模の拡大が進められており、今後も産地を維持・拡大してゆくためには、新規就農者の受入れなど労働力の確保が重要となっている。

農業普及課では、新規就農者の募集やそれに伴う住宅確保等の問題を解決するため生産組織や関係機関に新たな協議会の設立を呼びかけてきた。その結果、ひるがの高原だいこん生産出荷組合・ひるがの高原いちご組合・ひるがのフラワーサークル及び関係機関から賛同が得られ「たかす園芸生産協議会」の設立に至った。

たかす園芸生産協議会の設立総会は3月22日に開催され、事業計画や予算・規約案を審議し、原案どおり可決された。

今後、農業普及課は新協議会の活動を積極的に支援し、産地の維持・拡大を図っていく。



【協議会設立総会の様子】

■ 郡上営農連絡会議 **新規就農者への支援について情報交換**

郡上農林事務所農業普及課では、郡上市やJAめぐみの郡上営農経済センター等に呼びかけて、定期的に郡上営農連絡会議を開催している。今年度は3月までに6回の連絡会議を開催し、主要農作物の生産販売経過や普及計画の進捗状況と共に新規就農者への支援について検討してきた。

3月6日の会議では関係機関職員18名が出席して、郡上トマトの学校研修カリキュラムやJA就農塾への応募状況について協議した。

農業普及課は次年度も郡上営農連絡会議を定期的に開催し、新規就農者への支援を含め、地元の農業振興に向けた協議を関係機関と一緒に進めてゆく。



【連絡会議の様子】

売れるブランドづくり

■水稲 郡上コシヒカリのブランド化推進会議を開催

郡上市では稲作農家の有志36名が、郡上コシヒカリの食味を高めてブランド化を図ろうと、平成28年より郡上産米ブランド化研究会を立ち上げて、米の生産販売について議論している。3月19日には本格的な春作業を前に、平成31年度の取組みについて協議するため、郡上コシヒカリのブランド化推進会議を開催した。

農業普及課は、この会議の企画立案と運営を行った。当日は郡上産米ブランド化研究会会員と関係機関職員合わせて、13名の参加が得られ、県中山間農業研究所研究員よりコシヒカリの食味向上に関する試験研究成果について報告を受けると共に、農業普及課より昨年開催した第4回郡上おいしい米コンテストの解析結果や若手稲作農家による郡上産米の知名度向上に向けた取組みについて紹介した。

今後も農業普及課は郡上産米ブランド化研究会の活動や若手稲作農家の取組みについて支援し、郡上産米のブランド化を進めていく。



【推進会議の様子】